

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 11 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 二階堂 昌喜	
環境-23	実施事業	今泉クリーンセンター収集事業	自治事務 <input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>
			主管課	環境センター
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	関連課	
		施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 大船・玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。 ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。 清掃車両の整備及び管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	74,299人	74,402人	74,402人	74,714人	74,714人			
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	11,735	15,476	15,476	当初予算(千円)	20,629		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	11,735	15,476	15,476	一般財源	20,629		
	人員配置数	29.8	27.8	27.8	人員配置数	27.8		
事業経費運営	人件費(千円)	242,662	228,037	228,037	人件費(千円)	233,052		
	総事業費(千円)	254,397	243,513	243,513	総事業費(千円)	253,681		
	市民1人当りの経費(円)	1,438	1,380	1,380	市民1人当りの経費(円)	1,439		
	対象者1人当りの経費(円)	3,424	3,273	3,273	対象者1人当りの経費(円)	3,395		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 自治・町内会長及び廃棄物減量化等推進員

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	第4次職員数適正化計画による技能労務職の退職者不補充等を踏まえ、将来担う直営業務及びこれに必要な職員数並びにごみ減量対策課のごみ収集委託事務等について、平成30年度中に組織の見直しを図っていく。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする			<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する			<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	収集車両の維持管理及び業務運営に伴う非常勤嘱託員の報酬等が予算の大半を占めているが、現状の人員はもとより機材等の必要最小限の確保が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・ごみの収集事業は市民生活に欠かせない重要な事業であり、公衆衛生も含めた質の高いサービスや災害時等緊急を要する対応をするため安定した収集体制を整える必要がある。</p> <p>・また、事務作業及び収集作業に係る業務の効率性、クリーンステーション等の指導・助言、不適切物等の調査、町内会や住民相談等への迅速な対応など、円滑な業務の引き継ぎを行っていくため一定数の直営職員の確保が必要である。</p>
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・退職者不補充に伴う作業体制の再編成。 ・「声かけふれあい収集」の利用世帯者数については、おおむね横ばいであるが、今後増加傾向になった場合人員補充も含めた対応が必要となってくる。 	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・収集業務の一部を民間業者に委託し作業体制の見直しを図った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの維持継続及び緊急災害時等の迅速な対応も含めた、一定数の直営職員の確保。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市とは直営と民間委託の作業体制や収集による分別品目等の違いのほか、鎌倉市特有の地域性もあるため単純に比較するのは困難である。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	燃やすごみの年間収集量					単位	トン	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
ごみの減量化・資源化へのさらなる取り組みのため	目標値	7,700.0	7,700.0	7,887.0	7,746.0					
	実績値	9,742.7	8,060.6	8,074.5	7,859.0					
	達成率	73.5%	95.3%	97.6%	98.5%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成27年4月より実施した家庭ごみ(燃やすごみ・燃えないごみ)のごみ袋有料化によって、ごみ収集量の削減効果はあったが、引き続き指導・啓発活動等により、ごみの分別・資源化を図っていきます。
-----------------------	---